

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1062
施設名	ChaCha Children Musashiseki
施設所在地	東京都練馬区関町東2-9-11
法人名	ChaCha Children & Co.

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

アトリエ空間から多方面に派生していく子どもの興味、関心および探求の繋がりが生み出す、共同性や創造性を伴う学び。

<テーマの設定理由>

自然物を室内でも自由に扱って遊びたいという子どもの発言から、子どもたちが自然物の背景にどのような興味や好奇心を抱いているのか観察する他、子どもたちが遊びを展開していくプロセスに、子どもたちの学びや思考、共同性、創造性などの育ちが期待できるのではないかと考え、テーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

4~11月 自然物集め

6~3月 光の探求

8~10月 種の探求

2~3月 水の探求

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・キューブを主軸にしたアトリエの用意。
- ・子どもたちが集めた自然物、保育者が用意した人工物を収納する棚。
- ・光の探求が楽しめる暗闇コーナーと、光コーナー。
- ・水とのかかわりを楽しめる水コーナー。
- ・集めた種を自由に植え、その観察にじっくり取り組めるコーナー。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

・子どもたちが集めた自然物や、保育者が用意した人工物をかけ合わせて、花や場所、顔などを表現して遊んでいた。「太陽などを表現したい」という意見でライトを用意したことから、明暗や影を不思議がったり、光の色を変えて楽しんだりする姿が見られた。光をより自由に楽しむために暗闇、光コーナーが生まれた。光を探求していくと、光の強さ（子どもたちはキラキラと表現）に違いがあり、その中で水のキラキラが強いことに気が付いた。その性質の不思議さを日常の中で楽しむために水コーナーが生まれた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

光の探求の中で特に子どもたちの関心が強く表れていたのは、光の色の変化と、光の景色だった。半透明の亚克力やクリスタルを光に当てることで、影に色が付き、白いものに色が付くことを発見できていた。プロジェクターで森の映像を映した時には、「森の中に入っている。」と想像力豊かな遊びが展開されていった。

また、ライトテーブルに置かれた水を観察する中で、水の輝きの強さを改めて実感していた。水の揺らぎによる光の見え方の違いを楽しんだり、水を通した光が虹になっていることに感動したりしていた。その感動を周りの友だち同士で共有し合うことで、共同的な体験になっていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・子どもたちは一つの環境の中で、一人ひとり様々な方向へと興味や関心が広がっていくことを実感できた。そんな一人ひとり別々の興味の矛先が十分に満たされるためには、充実した環境の用意が必要で、その環境と関わることで溢れ出た好奇心が満たされていく様子も見られた。じっくり環境と関わっていく中で、新たな興味と出会うこともでき、子どもたちの興味の連鎖が続いていく姿も、今回の実践を通して感じる事が出来た。